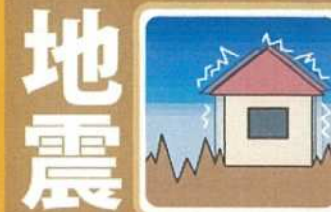
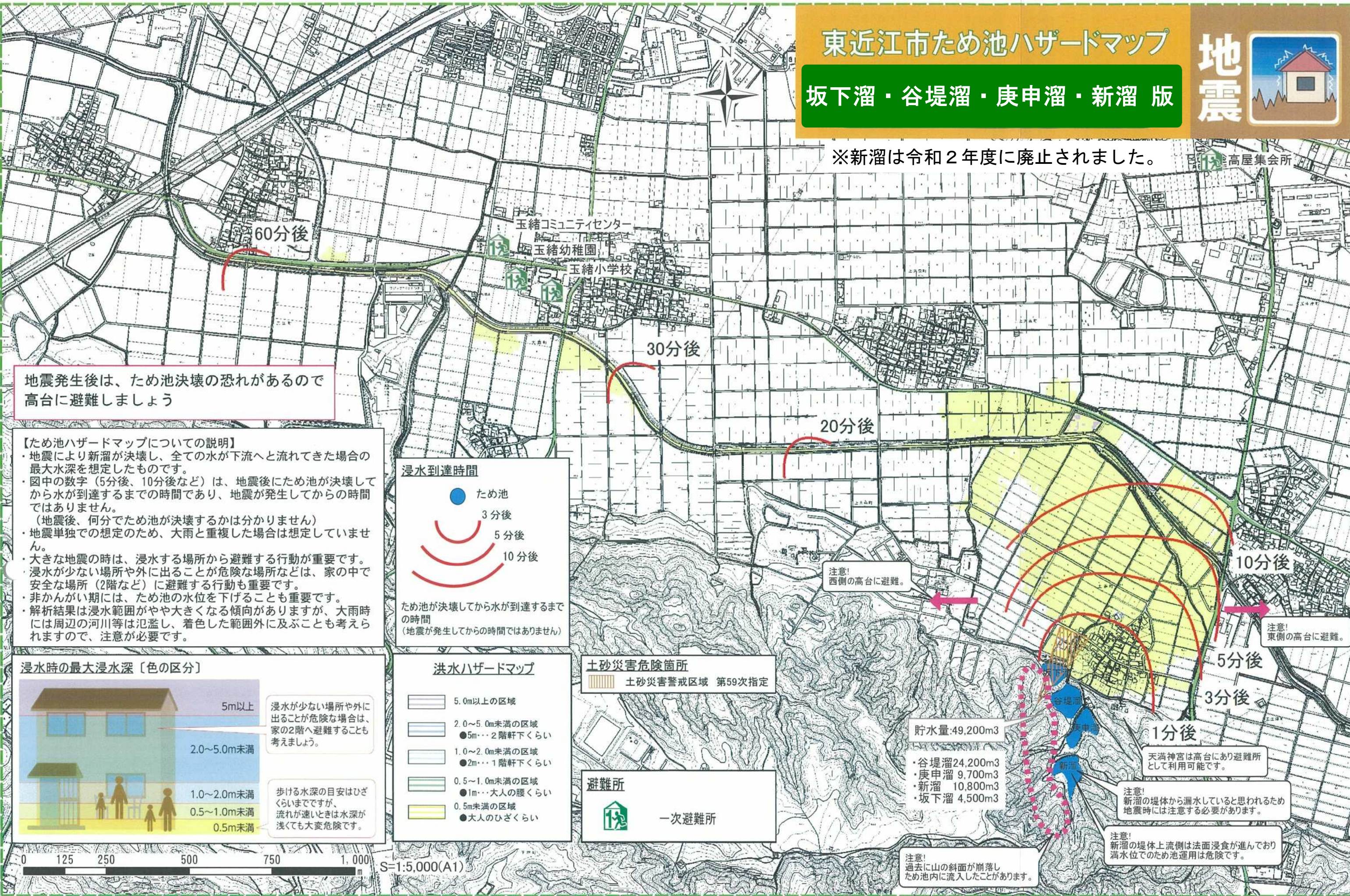


東近江市ため池ハザードマップ

坂下溜・谷堤溜・庚申溜・新溜 版



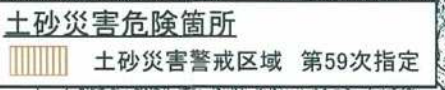
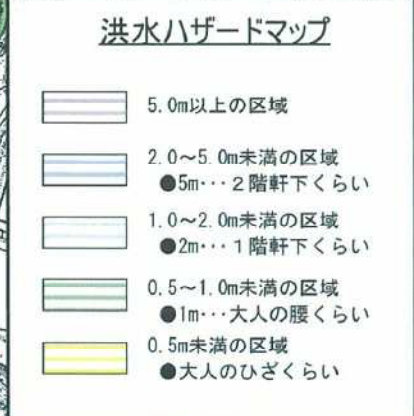
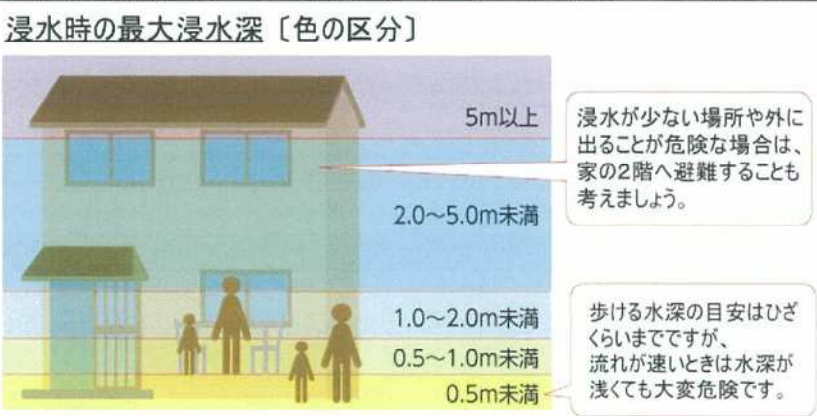
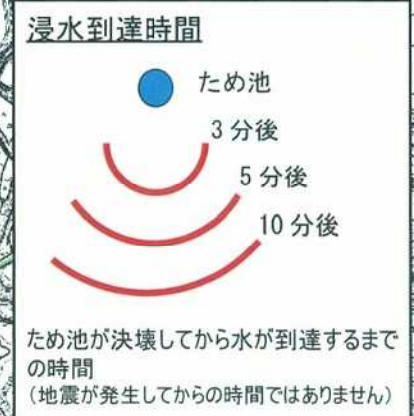
※新溜は令和2年度に廃止されました。



地震発生後は、ため池決壊の恐れがあるので高台に避難しましょう

【ため池ハザードマップについての説明】

- 地震により新溜が決壊し、全ての水が下流へと流れてきた場合の最大水深を想定したものです。
- 図中の数字(5分後、10分後など)は、地震後ため池が決壊してから水が到達するまでの時間であり、地震が発生してから時間ではありません。
(地震後、何分ため池が決壊するかは分かりません)
- 地震単独での想定のため、大雨と重複した場合は想定していません。
- 大きな地震の時は、浸水する場所から避難する行動が重要です。浸水が少ない場所や外に出ることが危険な場所などは、家の中で安全な場所(2階など)に避難する行動も重要です。
- 非かんがい期には、ため池の水位を下げることも重要です。
- 解析結果は浸水範囲がやや大きくなる傾向がありますが、大雨時には周辺の河川等は氾濫し、着色した範囲外に及ぶことも考えられますので、注意が必要です。



貯水量:49,200m³

- 谷堤溜 24,200m³
- 庚申溜 9,700m³
- 新溜 10,800m³
- 坂下溜 4,500m³

注意! 西側の高台に避難。

注意! 東側の高台に避難。

注意! 天満神宮は高台にあり避難所として利用可能です。

注意! 新溜の堤体から漏水していると思われるため地震時には注意する必要があります。

注意! 過去に山の斜面が崩落しため池内に流入したことがあります。

注意! 新溜の堤体上流側は法面浸食が進んでおり満水位でのため池運用は危険です。

